

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 4

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪
事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06(6772)2320
FAX. 06(6772)2327
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会長 佐藤 三千秋
会長ノミニー 百 濟 洋 一
副会長 和田 栗 一 良
幹事 大 畑 齊
会報委員長 宮 崎 康 治

MAKE DREAMS REAL 夢をかたちに

2008~2009年度 国際ロータリー会長 D. K. リー

第1693回例会 平成20年8月4日(月曜日) 第4号

本日の例会

8月4日(月) 第1例会

◎ソング 「君が代」「四つのテスト」

◎新年度方針説明

プログラム委員長	切石 博之
ロータリー情報委員長	宮田 照男
職業分類委員長	山本 義朗
クラブ会報委員長	宮崎 康治
会員増強・選考委員長	出原 正秀
雑誌広報委員長	坪倉 修吉
東輪会実行委員会副委員長	浅野 光男
S . A . A .	鈴木 勝俊

◎本日の献立 軽食

◎8月11日(月)定款による特別休会

来週の例会

8月18日(月) 第2例会

◎卓話 「未定」

ゲストスピーカー

米山奨学生 カエルザメル・サイフル・アザム君

(担当: 出原正秀会員)

◎本日の献立 素麺と寿司

先週の例会記録

7月28日(月) 第3例会

◎ビジター

宝塚武庫川RC 八木康一氏 他2名

会長挨拶

会長 佐藤三千秋

先日の7月14日(月)夕刻、太閤園にて直前会長幹事の慰労会が開催されました。多数の会員に出席して頂いて大変楽しく、一年に一度のロータリー行事を盛会に終わることができ、本当に有難うございました。つきましては、岩崎親睦委員長初め委員の皆様には大変お世話になり、お礼申し上げます。

この7月から始まりましたR I 3年間プロジェクト「ポリオ撲滅運動」について、7月7日(月)の初回例会にて、このプロジェクトの内容をお話し、3年にわたり年2,000円の寄付をお願いしましたが、この度、R I よりこのプロジェクトの進展状況を3ヶ月に一度ずつ定期的にニュースレターとして皆さんにお知らせする旨の創刊号が届きました。これによりますと、本年1月からのポリオ発症件数は世界で313件だそうです。一番多い

国はインドで186件です。また、ロータリーの1億ドルチャレンジの寄付達成は、スタートしたばかりなので0ドルとなっています。今後も定期的に進展状況を皆さんに例会で報告致し、ご理解とご協力をお願いしていきたくと思っています。

幹事報告

幹事 大畑 齊

1. 秋のライラ開催のお知らせが来ています。参加青少年の、ご推薦及び、ロータリアンのご参加をお願いします。詳細は事務局に、お問い合わせください。
2. 「ダメ、ゼッタイ」の募金箱を回します。ポスター掲示していますのでご協力お願いします。
3. 直前会長幹事慰労会の請求書を、ポストに入れております。
4. 地区ロータリー財団セミナー
8月30日(土) 木村委員長
地区職業奉仕委員長会議
8月30日(土) 横 委員長
よろしくお願い致します。
5. 8月4日(月)例会後、定例理事役員会を開催致します。
6. 他クラブ例会変更お知らせ5件を掲示しています。
7. 次週8月4日(月)～9月8日(月)まで例会会場は20階クリスタル&エメラルドルームに変更です。お間違いなきようお願い致します。

出席報告

岩橋会員

本日の会員数	44名
本日の出席者数	34名
本日の出席規定適用免除会員	15名
本日の出席率	80.95%
7月7日の修正出席率	92.50%

SAAニコニコ箱報告

松浦副SAA

金子(誠)会員 米山奨学委員会をよろしく。
宮田会員 お暑うございます。お身体に気をつけ

てください。今期、ロータリー情報委員会をよろしくお願いたします。

森 会員 天神祭を孫達と楽しく過ごしました。
写真、ありがとうございました。

松岡会員 祝い事がありました。例会の欠席のお詫び。

新年度方針説明

ロータリー財団委員会 委員長 木村正一

本年度ロータリー財団委員会を担当することになりました委員長の木村正一です。ロータリー財団のプログラムは未だ理解に苦しんでおりますが、国際ロータリーは、人間の生活を向上させ、世界の理解と平和の推進という究極の目標へと近づくために、ロータリー財団のプログラムには、人道的プロジェクトや奉仕プロジェクトを実施する上でクラブと地区を支援する＝人道的補助金プログラム＝。直接的な出会い、友情、研究や勉学、異文化交流を通じて、理解を深め、平和を育む＝教育的プログラム＝。世界的なポリオ撲滅活動を支援する＝ポリオ・プラスおよびポリオ・プラス・パートナープログラム＝。等が含まれています。

また、国際ロータリー第2660地区では、去る4月次年度のための地区協議会が開催され、ロータリー財団部門会議において提案があり承認されました。以下今年度の主な活動目標として、

1. 今年度のR財団活動方針の中で最重要項目は「ポリオ撲滅への協力」で、地区財団委員会で検討の結果、ポリオ撲滅のための寄付目標金額は、会員一人あたり2千円以上と決定しました。各クラブ会員数×2,000円として各クラブ単位でまとめることになりました。
2. 一般年次寄付は会員一人あたり\$130以上になりました。
3. 恒久基金への寄付は各クラブ1名以上のベネファクター(\$1,000)を目標でご協力下さい。
4. 新入会員等でポールハリス準フェローに未加入の会員に対し加入促進を計る。

以上このプログラム達成のためには会員皆様方のご理解とご協力が不可欠と思います。ご協力の程重ねてお願いいたします。

5. 11月 はロータリー財団月間となっています。

ロータリー財団も国の内外で人道的、教育的、文化的プログラムを提供しています。ロータリー財団の果たす役割、目的、活動状況や、会員から寄せられた貴重な基金、寄付金等の用途などについて財団地区委員をお招きして卓話を拝聴し、会員への周知を計りたいと思います。11月17日の例会を予定しています。

尚、当委員会は百済会長エレクトが2660地区ロータリー財団地区委員になっておられますので種々ご指導を頂きながら、新進気鋭の金子勝信副委員長とともに一年間活動してまいりますので、各位の一層のご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます。

米山奨学委員会 委員長 金子誠二

(財)米山記念奨学会は全国ロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する日本独自の国際奨学事業です。現在、選考は地区本部だけではなく、現地に赴き直接面接し、優秀な学生を選考する方法も採用しています。

事業の使命は将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す“平和と国際理解”の推進そのものです。2007年4月現在109ヶ国、13,902人の留学生を支援しました。

しかし、1996年をピークに寄付金は減少し続け、2005年4月採用からは奨学生採用数・奨学金額ともに縮減、財政の健全化を図りながら、寄付金収入に見合った支援規模で運営しております。

米山奨学金支給対象者は高専専攻科・大学・大学院生の留学生です。奨学金は月額7万円、10万円、14万円。期間は最長2年間(大学学部生以上)。

寄付金には「普通寄付金」と「特別寄付金」の2種があります。普通寄付金は半期ごとに、各クラブで決まった一人当たり金額を会員分送金寄付するものです。奨学金の安定財源となっています。特別寄付金は任意の寄付で、個人寄付、法人寄付、クラブ寄付の3種類あります。個人、法人の寄付には所得税、法人税、相続税の寄付金控除対象となります。

今年度地区からの要請は会員一人当たり2万円以上となっています。当クラブの普通寄付は半期一人当たり2,500円、2660地区平均は2007年度4,400円です、奨学金の財政安定化のため、次年度には普通寄付の増額検討をお願いしたいと思っています。今年度地区からの要請は一人当たり2万円ですから、要請に応えるには一人当たり15,000円の特別寄付をお願いしなければなりません。10月は米山月間です。是非とも目標達成出来ますよう皆様方のご支援をお願いいたします。

今年度は米山奨学金についてのご理解を深めていただけるよう、情報提供をすすめてまいります。

なお、現在当クラブで受け入れている奨学生は、マレーシア出身のカエルムザメル・サイフル・アザム君(23歳)です。留学先は大阪工業大学、期間は2007年4月～2009年3月の2年間です。カウンセラーには出原会員をお願いいたしております。会員の皆様も積極的に話し掛けていただき、支援していただきますようお願いいたします。

世界社会奉仕委員会 委員長 瀧田浩彦

今年度R I会長のテーマ「MAKE DREAMS REAL」とは「夢をかたちに」であります。また、当地区横山ガバナーはR I会長方針に沿って「子供達に光があたる」奉仕プロジェクトを推進するよう要請されました。また、佐藤会長も、クラブ方針の中に取り上げておられます。当委員会は、その方針に則り今年度も、2件のプロジェクトを計画しています。

1) 国際ロータリー(R I)が認証している数少

ない日本のNGOである日本国際飢餓対策機構が関連するFHIフィリピン（International Food for the Hungry-Philippine）が活動する世界里親会の支援家族の生活向上に役立つ為に、次のプロジェクトを実施する。

名 稱 : コミュニティー養豚プロジェクト（里親家庭優先）

総費用 : US \$ 3,250

クラブ拠出金 : US \$ 2,000

現地担当者 : Ms Debbie Toribio

（デビー・トリビオ女史）

子豚2頭を預かった家族は、6ヶ月後に売却した時点でその代価と飼料代を返済し、残った金で再び子豚を今度は自前で購入して育て、6ヶ月後にはそれを売却し、その繰り返しで、その里親家族の生計は徐々に向上する。返済された代金は次の新しい家族にと広げられ、その効果は他地区で実証済である。特に里子のいる家庭を優先して、実施するようにしたい。

2) サイクロンにより未曾有の被害の出た、ヤンゴン周辺やバガン等、ミャンマーには10年来、メアリーチャップマンスクール、モーパリン村の小・中学校建設、高原地帯(ティリ・ピサヤの小学校・ミャウンゾウ村・コオズイン村・タウンヨォザロツ村)4ヶ所の深井戸設置、日本人吉岡医師の主催する医療奉仕団に手術用麻酔器を贈り、また、4月には緊急医薬品購入資金に10万円と、ミャンマーでのガイドと通訳として我々と馴染み深かった、キン・メイ・タンさん宛てにも緊急援助資金10万円を湯谷会員を通じて贈るなど、永年に亘って援助を続けてきた。また、会員個人としてもモーパリン村の小・中学生徒に奨学金を贈る援助が続けられているが、それ等をまとめて恒久的な、広い意味の世界社会奉仕活動にする方向で、意見調整をしたいと考えている。

親睦活動委員会 委員長 岩崎史郎

今期、親睦活動委員会では、会長方針にも掲げられている会員相互の融和並びに親睦活動を図り、特に前期入会された新入会員との交流を深め、楽しいクラブ活動が出来るよう努力していきたいと思っております。今年度は東輪会ホストクラブです。東輪会ゴルフも皆様方のご指導を頂き、盛大に進めて参ります。

ご協力のほど、よろしくお願い致します。

会計 委員長 福岡康民

今年度予算は前年度予算に比べ、会員増強4名分、僅かですが余裕があるように思われますが、物価高騰等世の中の情勢を鑑みますと、そうは言っていない状況と思われます。

例年並みの予算取りとなると思われますが、会長並びに各委員会の方針に沿った予算の作成を行ないたいと思っております。

出席委員会 委員長 松岡 武

全員出席をお願い致します。止むを得ず欠席される方は、松岡か、事務局まで方々連絡頂きますよう、お願い致します。



新会員を推薦した会員「2008-09年度新会員推薦者ピン」（現在、青色のピンが登場）を贈りましょう。ピンは、ロータリーの被免許業者を通じてご注文いただけます。